

研究課題名	時間生物学に基づく法医剖検例の病態生理学的解析
研究の意義・目的	時計遺伝子は血圧や体温などの概日周期の維持に大きく関連していることが明らかにされつつあります。また、時計遺伝子の乱れは様々な疾患に影響することが知られています。本研究の目的は、内因性急死や薬物中毒死などの致死性の病態と時計遺伝子との関連を明らかにすることです。本研究結果により、疾病予防や内科学的治療法確率につながるものと考えております。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2005年1月～2024年3月に大阪公立大学医学部法医学で、司法解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	死因鑑定の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【体液（血液，尿，脳脊髄液など），組織（心臓，肝臓，腎臓，脳，膵臓など）】 診療情報等：【年齢、性別、死因、死後経過時間、発病後経過時間、薬物入手状況(病院処方など)】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 研究責任者 石川隆紀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名)石川隆紀 メールアドレス：_gr-med-legalmed@omu.ac.jp